

土木系建設コンサルタント業務 特記仕様書（案）

業務名：サンキタ通り他詳細設計業務

必須事項（項目）	内 容
1. 契約の方法種類	契約は、総価契約による「委託契約」とする。 履行方法は、一括履行による。
2. 総則	(1) 本特記仕様書は、「サンキタ通り他詳細設計業務」（以下「本業務」という）に適用する。 (2) 本特記仕様書に定めのない事項は「神戸市測量・地質調査・設計業務等共通仕様書（以下「共通仕様書」という）」、「神戸市道路設計・調査業務等共通仕様書」に定めるものとする。これらの仕様書に明記されていない事項については、本市担当者と協議して決める。 (3) 本市からの入手資料や業務で作成した資料等、業務により知り得た情報の一切は、業務完了の時点を持って、返却すること。ただし、本市から許可を得た場合はこれに該当しない。
3. 業務概要	神戸市では、都心が目指す将来像として、平成 27 年 9 月に「神戸の都心の未来の姿 [将来ビジョン]」および「三宮周辺地区の『再整備基本構想』」を策定した。また、平成 30 年 9 月には、官民共通の具体的な目標像として、神戸三宮「えき～まち空間」基本計画を策定した。 三宮北西エリアは、「えき～まち空間」内で最も先行して再整備が進むエリアであり、令和 3 年春頃に神戸阪急ビル東館（西館リニューアル含む）が開業する予定であり、市としても同時期に隣接する「サンキタ通り」及び「さんきたアモーレ広場（以下「新アモーレ広場」という）」の再整備を予定している。特に「新アモーレ広場」については、平成 31 年 3 月にデザイン募集により先進性の高いデザインに決定したところである。 本業務は、当該エリアが神戸の新たな象徴空間となることを目指し、新アモーレ広場のデザインを実現するとともに、周辺施設と調和しつつもデザイン性にも優れ、居心地がよく訪れたくなる公共空間として、「サンキタ通り」及び「新アモーレ広場」を再整備するための詳細設計を行うことを目的としている。
4. 契約期間	契約締結日翌日から令和 2 年 3 月 31 日まで
5. 履行場所 （設計の場所）	神戸市中央区加納町 4 丁目～北長狭通 1 丁目

	<p>The map illustrates the Sanjita Amore Plaza project area. Key features include: <ul style="list-style-type: none"> サンキタ通り (Sanjita-dori) running north-south. 生田新道 (Sanjita New Road) running east-west. 生田筋 (Sanjita-dori) running east-west. 北野坂 (Kitanozaka) running north-south. アールロード (Aaruroad) running north-south. JR三宮駅 (JR Sanjita Station) located to the east. 阪急神戸三宮駅 (Hankyu Kobe Sanjita Station) located to the west. 阪急東口 (Hankyu Higashi-guchi) located near the Sanjita Amore Plaza East Building. JR西口 (JR Nishi-guchi) located near the Sanjita Amore Plaza West Building. さんきたアモレ広場 (Sanjita Amore Plaza) is the main project area, highlighted in red. 神戸阪急ビル東館 (建て替え) (Kobe Hankyu Building East Building (Replacement)) is located to the east of the plaza. 西館リニューアル (West Building Renovation) is located to the west of the plaza. </p>
<p>6. 技術者</p>	<p>(1) 管理技術者 管理技術者は、「共通仕様書」第9条第3項の定めを満たすものとする。</p> <p>(2) 照査技術者 照査技術者は、「共通仕様書」第10条第3項の定めを満たすものとする。</p> <p>(3) 担当技術者 担当技術者は、「共通仕様書」第11条の定めを満たすものとする。</p>
<p>7. 関係仕様書及び準拠すべき図書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神戸市測量・地質調査・設計業務等共通仕様書 ・ 神戸市道路設計・調査業務等共通仕様書 ・ 標準構造図集（土木一般工事） ・ 神戸市が管理する道路の構造の技術的基準等を定める条例 ・ 道路土工構造物技術基準 ・ 道路土工指針 ・ コンクリート標準示方書（設計編）（施工編） ・ 防護柵設置基準・同解説 ・ 舗装設計施工指針 ・ 道路構造令の解説と運用 ・ 神戸市道路設計指針（案） ・ 神戸市バリアフリー道路整備マニュアル ・ 神戸市歩道整備指針 ・ 道路照明施設設置基準、同解説 ・ LED道路・トンネル照明導入ガイドライン（案） <p>上記の関連図書については最新のものを参照すること。契約期間内に関連図書が改定された場合には、本市担当者と協議の上で判断するものとする。</p> <p>なお、参考図書については、設計報告書に明記し、抜粋添付すること。</p>

8. 業務内容

1. 設計条件

(1) 整備方針

- ・一般車の通行は規制し、荷捌車や緊急車両のみ通行可とするデザイン性の高い歩行者優先の道路として再整備を行う
- ・時間帯を限定し荷捌き等の許可車の進入は残るため、警察の指導により一定の安全確保は必要（視覚的な歩道・車道の分離、ボラードの設置等）
- ・「えき～まち空間」の一部を構成していることを考慮するとともに、「神戸阪急ビル東館建替え計画（西館リニューアル含む）」を意識しながら、新アモーレ広場とサンキタ通りのスムーズな融合を図ることが必要
- ・整備した公共空間は、将来的にエリアマネジメントにより管理・運営を想定

(2) 設計条件

- ・幅員構成

【一般部】

全幅 15.0m＝歩道 7.75m＋車両通行幅 4.0m＋歩道 3.25m

【荷捌部】

全幅 15.0m＝歩道 6.0m＋荷捌き 1.75m＋車両通行幅 4.0m＋歩道 3.25m

- ・既存の電線共同溝等の地上機器の移設は不可
- ・道路構造物、付属物として、ボラード、照明、植栽（樹種・配置）、舗装材料（アーケード下含む）、荷捌きスペース、ベンチ等の休憩施設 等については検討対象

(3) 業務の進め方

- ・新アモーレ広場の設計については、デザイン募集により選定された最優秀賞作品の提案者（以下、デザイン提案者という）の監修を受けながら検討を進める。形状やデザイン等の変更については、デザイン提案者の了解を得るものとする。
- ・舗装・照明・ボラード等のデザイン及び施設配置等の公共空間の景観形成については、「えき～まち空間」デザイン調整会議への意見聴取が必要となる。また、あわせて公共空間デザインアドバイザー専門部会（以下「専門部会」という）への協議が必要となるが、過年度業務により検討した空間整備の方向性については、本業務の契約締結までに協議を予定しており、その意見についても設計に反映させるものとする。
- ・夜間景観についても、神戸市夜間景観形成実施計画に基づき専門家への意見聴取を予定している。
- ・都市局より発注されている「えき～まち空間」における空間デザイン検討業務と調整を行うものとする。
- ・先行する神戸阪急ビル東館建替え工事等と同時期の令和3年春頃の完成を目指して、当設計箇所の実施を行うため、契約当初から施工主である阪急電鉄㈱と協議・調整を行うものとする。

2. 設計業務内容

(1) 平面線形の検討

早急に平面線形を決定し、別途発注する路線測量のための資料を作成する。

（線形計算書の作成、横断測量箇所の指定等）

(2) 空間デザイン検討

過年度業務の整備計画案を参考に、「神戸阪急ビル東館建替え計画」を意識しながら、サンキタ通りと新アモーレ広場やフラワーロード等の周辺道路とのスムーズな融合が図られた公共空間デザインや施設配置等について検討を行う。検討にあたっては、『居心地の良さ』『歩きたくなる』『利用される空間』『駅と商店街をつなぐ』『通りと広場をつなぐ』『建物の出入り口との関係性』『環境に配慮』『整備コスト』『維持管理コストの軽減』等に留意すること。

(3) 道路詳細設計 (B) (サンキタ通り L=約300m)

上記の業務により決定した内容を受け、工事に必要な設計図の作成及び数量計算書の作成、施工計画等の詳細設計を行う。なお本業務における舗装は、空間デザインに大きな影響を及ぼすため、舗装については材料指定しパターン図も作成を行うこと。また、その他の神戸市の標準図集にない構造物については、参考見積もりを取得すること。

(4) 広場詳細設計 (新アモーレ広場 A=1,000 m²)

新アモーレ広場のデザインを基に、デザイン提案者の監修を受けながら、広場の詳細設計を行う。道路詳細設計と同様に、舗装パターン図の作成や参考見積もりを取得すること。

(5) 特殊構造物詳細設計 (新アモーレ広場内構造物)

新アモーレ広場に設置する特殊な構造の上屋やベンチについて、デザイン提案者の監修を受けながら、設計計算、設計図作成、施工方法の検討、工事費算出、維持管理の手法等の提案を行う。また、参考見積もり(施工歩掛含む)を取得すること。

(6) 照明施設設計 (サンキタ通り及び新アモーレ広場)

デザイン性も考慮した上で、照度計算等、本市基準を満たすように設計を行う。なお、新アモーレ広場については、特殊構造物に照明装置を仕込む可能性もあり、サンキタ通りとの関係性だけでなく、広場全体としての照明のあり方についても検討すること。また、参考見積もりを取得すること。

(7) パースの作成

サンキタ通り、新アモーレ広場について、完成予想パースを4枚程度作成する。パースのアンクルについては、協議のうえ決定する。

(8) 関係機関との協議資料作成

【外部向け】 地元、警察、阪急電鉄 等

【内部向け】 「えきまち空間」デザイン調整会議、専門部会 等

(9) 設計協議

・協議回数は、初回、中間1回、納品(業務完了時)の計3回とする。

3. その他

【関連計画】

- ・神戸三宮「えきまち空間」基本計画(平成30年9月)
- ・神戸三宮「さんきたアモーレ広場」新たなデザイン提案募集結果(平成31年3月)
- ・神戸阪急ビル東館建替え計画プレス資料(平成29年4月・7月)

【貸与資料】

- ・サンキタ通り現地測量報告書(平成31年3月)
- ・三宮北西エリアにおける整備計画等検討業務(令和元年6月) 等

9. 成果品		種 類	規 格
	1	位置図	縮尺 (1/2500)
	2	計画平面図 (排水工、舗装工、 植栽工、照明工、撤去工)	サンキタ通り：縮尺 (1/500) アモーレ広場：縮尺 (1/250)
	3	縦断面図	縮尺 (1/500、1/100)
	4	標準横断面図	縮尺 (1/100)
	5	横断面図	縮尺 (1/100)
	6	構造図	縮尺 (協議による)
	7	設計計算書	A 4 版
	8	数量計算書	A 4 版
	9	設計報告書	A 4 版
	10	打合せ協議簿	A 4 版
<p>※紙ベース (A 3 折図 (A 4) 1 部、報告書 (数量計算書等) 1 部)、 入札用図面電子データ (CD-R PDF , DWG 2 部) とする。 納品先：建設局中部建設事務所</p>			
10. 電子納品	<p>本業務は神戸市簡易版電子納品の対象業務とし、「神戸市電子納品運用指針 (簡易版) (案) H23. 4」に基づいて作成するものとする。 電子納品対象成果品は、上記「9. 成果品」に準ずるものとし、電子媒体 (原則 CD-R) で 2 部提出するものとする。 電子媒体の提出の際には、電子納品チェックシステム等によるチェックを行ってエラーが無いことを確認した後、ウイルスチェックを実施した上で提出するものとする。 なお、電子納品に係る費用は、諸経費に含む。</p>		
11. かし担保期間	完成検査合格の当日より 1 2 箇月		
12. 貸与品	業務に必要な本市所有の関係資料は、必要に応じて貸与する。		
13. その他	<p>(1) 環境への配慮 (環境マネジメントシステム) 神戸市では、調達すべき環境物品等や環境配慮型契約の種類や調達目標を「神戸市グリーン調達等方針」として定めています。 本業務においても「神戸市グリーン調達等方針」を反映することとしておりますので、趣旨を理解の上ご協力をお願いします。業務着手前に神戸市環境局ホームページ「グリーン調達の推進」において確認してください。 URL http://www.city.kobe.lg.jp/information/project/environment/green/</p> <p>(2) 成績評定 平成 29 年 4 月 1 日以降契約の業務については、成績評定点の如何にかかわらず、成績評定を通知します。 また、平成 29 年 4 月 1 日以降契約の業者については、成績評定が 60 点未満のとき履行状況が不良なときとみなして指名停止措置をとります。</p> <p>(3) 隣接工区との調整 本業務において隣接工区が電線共同溝完了済みまたは設計を行っている場合は工区間で十分に調整を行うこと。</p>		